

事務事業名		ランカスター市中学生相互交流委託事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり					担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡	
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	4 相互理解の環境づくりの推進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1279	一般	2	1	7	ランカスター市中学生相互交流委託事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H4年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		一部委託			
						事業分類		その他市民に対する事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
姉妹都市であるアメリカ合衆国ペンシルバニア州ランカスター市と友好交流を図るため、中学生の派遣および受け入れをする。国際交流協会に委託して事業を実施している。			5月13日から19日までの7日間、ランカスター市の中学生16人、引率3人の受入を行った。 10月21日から28日までの8日間、ランカスター市へ生徒14人、引率2人、通訳1人の派遣を行った。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			派遣人数	人	18	14	16	16	16	
			派遣日数	日	8	8	8	8	8	
			受入人数	人	16	16	16	16	16	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市内の中学生及びホストファミリー			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			市内の中学生生徒数(佐野市立中学校)	人	3,027	2,936	3,017	3,103	3,130	
			ホストファミリー	世帯	20	19	23	23	23	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
ランカスター市との友好交流を推進する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			相互交流事業数	事業	2.0	3.0	2.0	2.0	2.0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
市内で日本人と外国人が相互に理解し合って暮らせる。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			外国人との交流をする市民の割合	%	8.5	10.5	11	11.5	12	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	2,185	2,170	2,250	2,250	2,250					
	事業費計(A)	千円	2,185	2,170	2,250	2,250	2,250					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			受入業務委託料	430	受入業務委託料	446	受入業務委託料	450	受入業務委託料	450	受入業務委託料	450
			派遣業務委託料	1,755	派遣業務委託料	1,724	派遣業務委託料	1,800	派遣業務委託料	1,800	派遣業務委託料	1,800
人件費	人	1	1	1	1	1						
のべ業務時間	時間	160	160	160	160	160						
人件費計(B)	千円	623	631	631	631	631						
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,808	2,801	2,881	2,881	2,881						

事務事業名	ランカスター市中学生相互交流委託事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成4年度、自治省から国際交流のまち推進プロジェクト実施市町村の指定を受け、本市における指針となる「佐野市国際交流のまち推進計画」を策定し、平成6年度にはランカスター市と姉妹都市提携をした。それに先立ち平成5年度より派遣事業を実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ホストファミリーを希望する家族が減少している。派遣については一般応募としたが、募集人数に対して応募者が同程度若しくは少ない傾向にある。同様なプログラムを民間企業でも実施している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	中学3年生を対象としているが、受験との関係、ホストファミリーの増加のために、対象学年を増やして実施してほしいとの要望があり、平成24年度より中学生全学年を対象に変更した。派遣された生徒たちはたいへん貴重な体験をしてくる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	26年度の個人負担などは現状維持としたが、一部公費負担について引き続き検討していく必要がある

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	国際交流事業に意欲のある生徒(公募による申込者)をランカスターに派遣することにより、これからの国際化社会を担う人材を育成するとともに、ランカスターからの受入を行うことで、本市とランカスター市との友好交流の促進を図ることができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	本市とランカスター市は姉妹都市提携をしていること、また、ランカスター市からは毎年英語指導助手(ALT)を招へいしており、中学生の相互交流事業を継続していくことは友好関係構築の基本部分となっているため、市が行なうことは妥当であるが、派遣事業への一部公費負担については見直しが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	現在の事業内容は、中学生の受入・派遣により、ランカスター市との友好交流を推進するため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	受入を行うホストファミリーとの交流、学校での交流の機会を活かすことにより、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
	類似事務事業はない	理由・改善案	*類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	受入事業の内容の見直しや、派遣事業の個人負担を見直したりすることによって、効果を低下させずに事業費を削減する余地がある。
	事業費の削減余地がある	理由・改善案	
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	希望者を募集、選考の上で派遣していることから、派遣する生徒が受益者となる。ランカスターの子どもが佐野に来る場合は全額自己負担であることを考慮すれば、個人負担の割合を見直す余地がある。
	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		
	ランカスター市との協定により相互交流を実施しているが、その他の交流方法で中学生の国際化を図ることができれば廃止できる。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
受益者負担の適正化(公平性⑦) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①派遣する生徒の自己負担の割合を見直すことにより、事業費を削減することを検討する。 ②直接派遣だけでなく、協会を通じた民間交流への間接支援を行うことを検討する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果維持</td> <td>①,②</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				成果維持	①,②		×	低下		×	×	
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上																						
成果維持	①,②		×																			
低下		×	×																			